

富士吉田市地域創生総合戦略

≪検証事業：平成28年度地方創生交付金事業ほか≫

基本目標	基本目標1. 人を呼び込み・人に選ばれる魅力ある地域づくりの推進			
政策	政策1. 地域を担う基幹・基盤産業の振興			
具体的な施策	施策① ものづくり産業を核としたグローバルデザイナー拠点事業による地域ブランドづくりの推進			
事業の名称	ものづくり産業を核としたグローバルデザイナー拠点事業による新たな地域ブランドづくり事業			
事業概要	<p>富士吉田市は、周辺市町村とともに繊維産業が数多く残る日本有数の地域である。富士山から流れ出る豊富で清冽な水によって郡内織りと呼ばれる絹織物の産地として一時代を築いたが、OEMを中心とした下請の産地だったことから、廉価な輸入品の流通とともに取引も減少し、全盛期から大きく売上や賑わいが落ち込んでいる状況である。</p> <p>本事業は、現在も残る、優れた技術を有する地元織物事業者を中心に、世界的なデザイナーや海外市場とのコラボレーションにより、グローバルデザイナーの拠点となる地域づくりを進め、繊維産業を含むものづくり産業の振興と、新たな地域ブランドづくり、観光資源としての活用を図る。</p> <p>平成27年度は、本事業を進めていくための仕組みの構築のための調査と組織化等を含めた初期活動を進めて行くこととし、世界的に著名なスウェーデン・フランスのデザイナーとのチャンネル開発や、国内における多様なデザイン関係者（デザイナー、流通、大学・専門学校、他繊維産地等）とのチャンネル開発を行った。また、28年度は、流通を巻き込んだ商品開発に向けた調査研究を行うとともに、グローバルデザイナー（ものづくり）拠点の形成に必要な情報プラットフォームを制作した。</p>			
H27年度 取り組み実績	<ol style="list-style-type: none"> 1 スウェーデン・フランスデザイナーとのチャンネル開発 2 国内関係者のチャンネル開発 3 海外・国内デザイナー・国内流通マッチング 4 事業マネジメント 5 事業費：11,431千円 			
H28年度 取り組み実績	<ol style="list-style-type: none"> 1 マーケットを巻き込んだ商品開発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地元事業者による作業チームの編成・検討 ・流通事業者（ホテル・博物館・美術館・物販等）へのヒアリング・調整 ・ファクトリーショップのオープン ・市場反応調査 2 ものづくり拠点の形成に必要な情報プラットフォームの整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・情報プラットフォームの内容検討・設計 ・情報発信ホームページの作成 3 ものづくり拠点の形成に必要な取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・事業マネジメント等 4 事業費：8,000千円（富士吉田市6,000千円、西桂町2,000千円） 			
地方創生交付金名/交付額	<p>H27年度 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）（上乗せ交付） 11,431千円</p> <p>H28年度 地方創生加速化交付金 8,000千円（富士吉田市6,000千円、西桂町2,000千円）</p>			
重要業績評価指標（KPI）⇒H31目標値	海外デザイナーチャンネル開発 ⇒10人	国内チャンネル開発 ⇒国内デザイナー5人、大学・専門学校3校	今後の事業推進のための枠組み構築 ⇒1件	繊維織物に関わる工業製品出荷額等 68億円（H25）⇒10%増加（参考値：年次別織物推定生産額H25：6,598百万円 富士技術支援センター）
H27年度 実績（KPI）	6人	国内デザイナー3人、大学・専門学校5校	1件	-（参考値：7,020百万円）
H28年度 実績（KPI）	-	ホテル6件、博物館・美術館3件、流通2件、食品2件	-	-
評価（効果）	地方創生・KPI達成へ効果が期待できる事業である。			
評価（今後）	すぐに結果が伴うものではないため、地道に情報発信、流通を巻き込んだ商品開発等を継続する必要がある。今後も積極的に事業を推進していただきたい。			
備考	商工振興課、まちづくり戦略課			

基本目標	基本目標 1. 人を呼び込み・人に選ばれる魅力ある地域づくりの推進			
政策	政策2. 観光・地域資源の活用強化と新たな産業の創出			
具体的な施策	施策④ 地域資源を活用した特産品の開発と地域ブランド商品の強化			
事業の名称	地域資源を活用した特産品の開発支援・販路拡大事業			
事業概要	本市独自の地域資源を活用した新商品の開発や既存商品をデザインの力で魅力ある商品に変えるなど、富士吉田の魅力为全国へと発信できる商品を再構築するとともに、地域ブランド商品である「ミルククイーン」、「ふじさん野菜」及び「ふじやま織」の生産・販売に対して支援する。			
H27年度 取り組み実績	<p>1 富士吉田市特産品開発支援・販路拡大業務委託 新たなアイデアによる新商品の提案、既存商品のデザイン変更による新たな魅力の創出、ふるさと納税返礼品など商品PR用写真の撮影支援、地元事業者との連携による新商品開発支援等を実施。</p> <p>2 開発商品：「むすぶうどん」、「おみくじクッキー」、「おみくじブラマンジェ」</p> <p>3 事業費：2,993千円</p>			
H28年度 取り組み実績	<p>新商品の開発 新たな特産品の開発や、既存商品の新たな魅力創出等、事業者と連携し実施。</p> <p>・和モダン 苔BONSAIなど 富士山麓の溶岩と富士砂、間伐材を使用し、和のインテリアとして製作。</p> <p>・折りたたみ傘（ほぐし織） 100年以上の歴史を持つほぐし織の技法を使ったこだわりの逸品であり、これまで長傘が主流であったが、バックに入れ持ち運びのできる折りたたみ傘を新規導入。</p>			
地方創生交付金名/交付額	H27年度 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型） 2,993千円 （基礎交付）			
重要業績評価指標（KPI）⇒H31目標値	新商品の開発 ⇒ 5件/年			
H27年度 実績（KPI）	3件			
H28年度 実績（KPI）	2件			
評価（効果）	地方創生・KPI達成へ効果が期待できる事業である。			
評価（今後）	魅力の発信と新商品の開発の好循環に向け、業者側の企業努力及び市全体として、情報を内外へ発信していく必要がある。今後も積極的に事業を推進していただきたい。			
備考	まちづくり戦略課、ふるさと納税推進室、商工振興課、農林課、富士山課			

基本目標	基本目標1. 人を呼び込み・人に選ばれる魅力ある地域づくりの推進		
政策	政策3. 雇用対策と産業基盤の整備		
具体的な施策	施策③ LLC(合同会社)設立を通じた市街地活性化プロジェクトの推進		
事業の名称	LLC(合同会社)設立を通じた中心市街地活性化プロジェクト事業		
事業概要	<p>本市の繊維産業は、戦後最盛期には、毎週市場が開かれ、中心市街地である西裏地区は、かつて居酒屋等の飲食店が集積し、市内外を問わず多くの顧客が通う飲食店街だった。その象徴の一つであった「新世界通り」は、繊維産業の衰退と共に、全ての店舗が廃業し、空き家となっている。</p> <p>一方、富士山の世界遺産登録により多くの外国人観光客が当地を訪れ、その受け入れ態勢の構築が課題となっている。今回の取組では、新世界通りの空き店舗を活用し、新たに屋台村通りとして再興することにより、若者の起業支援による雇用創出や定住促進、外国人観光客のための新たな観光拠点の構築を目指す。</p> <p>市民活動支援団体である「富士吉田みんなの貯金箱財団」がコーディネートする中で、域内・域外の若者の経営参画をもとにLLC(合同会社)を設立し、同財団の地域ネットワークを活用して空き店舗の活用と中心市街地の活性化を図ること、またそれに合わせて、人材育成と起業のサポート、移住・定住の促進等地方創生につながる政策をパッケージにして実施する枠組みを構築することは、これまでにない先駆性を有するものである。</p>		
H27年度 取り組み実績	<p>1 平成27年度は、LLCの設立、新規起業者の公募・教育、空き店舗の改装工事（躯体部分、給排水、ガス等）を実施し、屋台村通りのオープンに向け準備を整えた。</p> <p>① LLC設立を含む事業運営 （人件費・プロモーション費・空き店舗賃借料・施設管理費 等）</p> <p>② 創業支援金 教育受講・創業支援</p> <p>③ 店舗改装【対象：3店舗】</p> <p>④ 事業コーディネート （事業推進のための枠組み検討・事業マネジメント）</p> <p>2 イベント ① 新世界通り復活祭の実施（8月） ② プレオープン（28/2月）</p> <p>3 事業費：18,500千円</p>		
H28年度 取り組み実績	<p>1 平成28年度は、LLCの運營業務のほか、改装支援、テナンティング、イベント企画、プロモーション、施設管理、関係者との連絡調整など屋台村通り全体としての総合的な事業マネジメントを行った。</p> <p>① 事業マネジメント等委託 ② LLC運営費等</p> <p>2 事業費：7,000千円</p>		
地方創生交付金名/交付額	<p>H27年度 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型） （上乗せ交付） 18,500千円</p> <p>H28年度 地方創生加速化交付金 7,000千円</p>		
重要業績評価指標（KPI） ⇒ H31目標値	LLP（有限責任事業組合）の設立 ⇒ 平成27年度	新世界通り再生による新規起業者数 ⇒ 10人	新世界通りの空き店舗の活用数 ⇒ 8店舗
H27年度 実績（KPI）	LLC（合同会社）設立	1人	3店舗
H28年度 実績（KPI）	-	1人	1店舗
評価（効果）	地方創生・KPI達成へ効果が期待できる事業である。		
評価（今後）	周辺宿泊施設、飲食店、交通機関等と連携し、広域的な観光振興も含めた上で事業展開を図る必要がある。今後も積極的に事業を推進していただきたい。		
備考	まちづくり戦略課		

基本目標	基本目標1. 人を呼び込み・人に選ばれる魅力ある地域づくりの推進		
政策	政策5. 総合的な情報発信力の強化		
具体的な施策	施策① 地域ポータルサイトによる魅力発信の強化		
事業の名称	富士北麓情報サイト「富士山モ〜ル」事業		
事業概要	富士北麓地域の6市町村が協力連携して運営している「富士山モール」により、各地域の事業所や個人が取り組んでいる地域資源活用・観光・特産品等の情報を総合的に発信することで、富士吉田市の魅力の発信力を強化し、交流人口の拡大を図る。		
H27年度 取り組み実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトの管理運営 ・Facebookによる情報発信 ・各市町村広報への連載による周知活動 ・参加事業者用登録ステッカーの作製配布 ・LINEスタンプの活用 ・写真コンクールの開催 		
H28年度 取り組み実績	<ul style="list-style-type: none"> ・参加事業者拡大のための営業活動 ・WEBサイト機能強化（クーポン機能・事業者フリー書込み機能・閲覧者口コミ機能） ・WEBサイト魅力アップ（WEBビーコン等を活用した特集ページの制作） ・WEBサイト情報力強化（Google、Yahoo、Facebook） ・ポータルサイトの管理運営 ・写真コンクールの開催 ・各市町村広報への連載による周知活動 ・参加事業者用登録ステッカーの配布 		
地方創生交付金名/交付額	H28年度 地方創生加速化交付金 9,900千円 （富士吉田市6,000千円、富士河口湖町1,500千円、西桂町300千円、忍野村300千円、山中湖村400千円、鳴沢村100千円）		
重要業績評価指標（KPI）⇒H31目標値	富士山モールの参加事業者 654件⇒800件	富士山モールの年間ページビュー 18万件/年⇒20万件/年	facebookいいね数 3,500⇒7,000
H27年度 実績（KPI）	658件	203,660件	3,900いいね
H28年度 実績（KPI）	1,064件	139,400件	6,590いいね
評価（効果）	地方創生・KPI達成へ効果が期待できる事業である。		
評価（今後）	参加事業者数の目標数値を達成し、目標数値を再設定するなど一定の成果が現れている。今後も積極的に事業を推進していただきたい。		
備考	まちづくり戦略課		

基本目標	基本目標2. 若い世代の希望をかなえる環境づくりの推進			
政策	政策2. 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備			
具体的な施策	施策① 妊娠・出産・子育てまでを切れ目なくサポートする体制の整備			
事業の名称	子育て支援センターの開設によるサポート体制の整備			
事業概要	既存の福祉ホールを改修し、産前から高校生に至るまで切れ目のない子育て支援を実施するため、乳幼児や子育て中の保護者等が気軽に子どもを連れて集う場や、相談・支援の場が常時確保された子育て支援の拠点とした。また、子育てに関する情報を収集、発信、共有する施設として、さらには、児童が遊び学びあえる児童館機能を兼備えた施設として事業の運営を実施。			
H27年度 取り組み実績	<ul style="list-style-type: none"> ■福祉ホール改修事業・管理運営事業 平成27年度において、子育て支援センターの実施設設計・改修工事を着工した。 ■乳児家庭全戸訪問事業 すべての乳児のいる家庭を訪問することにより、養育についての情報提供や相談に応じ、その助言を行った。 			
H28年度 取り組み実績	<p>既存の福祉ホールを改修し、平成29年1月7日より子育て支援センター施設を開館し、妊婦から乳児、高校生まで切れ目のない子育て支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■子育て支援事業 「つどいの広場」を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言、その他の援助を行うと共に、子育てサークルへの支援を実施した。また、小学生から高校生が多目的ホールや、学習室を活用した。子育て支援センター利用状況 開所日84日、1階：つどいの広場他5,834人、2階：産前産後ケアルーム他355人、3階：多目的ルーム他810人 ■ファミリーサポートセンター運営事業 会員制による相互援助をアドバイザーを中心に実施した。 ■放課後児童対策事業 小学校1年生から6年生までの児童を市内13クラブで年間255日開所（内1月～3月は66日開所）し、親が仕事で家庭にいない児童の保育を行った。 ■乳児家庭全戸訪問事業 すべての乳児のいる家庭を訪問することにより、子育てに関する情報の提供並びに乳児及びその保護者の心身の状況及び養育環境の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行った。 ■ひとり親家庭医療費助成事業 ひとり親家庭に係る医療費を助成することにより保健の向上と福祉の増進を図った。 ■子育て応援医療費助成事業 乳幼児・児童に係る医療費を助成することにより、乳幼児・児童保健の向上と福祉の増進を図った。 ■未熟児養育医療給付事業 未熟児に対し適切な医療が給付されるよう経済的負担の軽減を実施。 ■不妊治療費助成事業 不妊治療費の一部助成することにより、経済負担の軽減を図った。 			
地方創生交付金名 / 交付額	【参考】 子ども子育て支援交付金（国庫補助金） 16,050,000円 子ども子育て支援交付金（県補助金） 16,003,000円他			
重要業績評価指標 (KPI) ⇒H31目標値	子育て支援センターの開設 ⇒平成28年度	子育て支援センターの利用者数 ⇒11,000人/年		
H27年度 実績 (KPI)	基本設計完了・改修工事着工	-		
H28年度 実績 (KPI)	改修工事完了	6,999人 (H29.1月～3月)		
評価（効果）	地方創生・KPI達成へ効果が期待できる事業である。			
評価（今後）	子育て環境の充実に向け、着実に進んでいる事業である。今後も積極的に事業を推進していただきたい。			
備考	子育て支援課			